

令和3年度(2021年度)子ども第三の居場所事業報告書

ちんじゅのもり拠点

NPO 法人創作クラブ Grian

子どもたちの自主的な生活スキル形成を目的としたプログラム

晩御飯を自分たちで作ることもキッチン週2日(月・金曜日)は、子どもの自発性が伸び、仲間と協力してできることが増えた。初めての経験を重ねることと、できたという実感が、次の意欲へとつながっている。配膳、下膳も自分で行うことで就学前の給食の練習にもなっている。また、地域やフードバンクからの食材提供も受けている。



地域の方から海で獲れた牡蠣を頂き、初めて牡蠣を洗って下ごしらえ



地域住民との多世代交流

ちんじゅのもり内にある鎮守の杜ファームでの野菜栽培や収穫を通して、普段接することのない世代間交流を行い、野菜の育ち方などを都度教わっている。



人参の苗植えと収穫。苗は地域の方からの提供。



地域人材による体験サポート

学校支援員経験のある方のボランティア参加や工作の好きな住民による工作ワークショップなど地域の方が得意なことを生かして運営に参加。



おやつづくり

あまり好きではない国語の宿題を済ませて、大好きなものをつくる楽しい時間。学習意欲の変化につながっている。



伐採した桜の枝を再利用したクリスマスリースづくりや、ちんじゅのもりのお風呂場の壁のタイルアート。セメントの作り方や貼り方を教わり、自分たちで建物の魅力を創る作業を楽しむ。後日、参加した子どもが、その時の様子を書いた作文が入賞。

子どもの体験を増やすプログラム アート活動、収穫体験



有吉先生と



地域の方の畑ではっさく収穫や動物の餌やりを体験。農作物のなり方や採り方や動物について学ぶ機会になる。



土曜アクティビティで地域の海岸清掃しまなみクリーンアップ day 2021 に参加 ガラスや貝殻も拾い、後日の工作の材料に。

スタッフ研修

JOCA 大阪訪問



地域特性と団体と得手を生かした拠点の運営や場の作り方を学ぶ。

スタッフミーティングにて情報共有。

先進地視察 川崎市桜本町 桜本保育園 ふれあい館 等

保護者や子どものルーツに配慮した掲示のしかたや文化活動の取り入れ方について学ぶ

スタッフミーティングにて情報共有。



オンラインスタッフ研修 4回 スタッフ及びボランティア参加 愛媛大学富田先生：特別支援教育について



スタッフよりちんじゅのもりでの特性のある子どもの対応についての質問や、日々の業務で感じた点を意見交換するなど、支援の振り返りをするよい機会になった。

社会福祉法人青丘社 武居氏：子どもの発達や関わり方について



子どもの育ちの過程と共に、支援する側の着目点などを復習する良い機会になった。また、多文化共生社会における外国につながる住民への配慮など、川崎市の歴史と共に学んだ。

